

普及項目	担い手
漁業種類等	養殖業
対象魚類	魚類
対象海域	八代海

魚類養殖体験教室による担い手確保の取組み

天草広域本部水産課・郡司掛 博昭

【背景・目的・目標（指標）】

天草地区では、水産業が地域の基幹産業であるが、他地区と同様に担い手不足が課題となっている。このため、天草地区漁業士会では、将来の担い手確保に向け、地元高校生に対し、卒業後の就職先の一つとして、地域の水産業に関心を持ってもらうことを目的に、現役の魚類養殖業者による職業講話や養殖現場での漁業体験を通じて、水産業の仕事内容や魅力を直接伝え、地元就業への意識啓発を図ることとしている。

今年度は、魚類養殖体験教室に参加した生徒のうち、50%以上が水産業への就職について関心を持つことを目標とし、当課は漁業士会事務局として、実施内容の企画・調整や関係機関との連絡調整を行うとともに、漁業士会の活動が円滑に実施されるよう助言・指導を行った。

【普及の内容・特徴】

（１）熊本県立天草拓心高校マリン校舎生徒を対象とした魚類体験教室

日 時：令和 7 年（2025 年）9 月 25 日

場 所：天草市牛深地先の魚類養殖場及び MOLIMON LAND 牛深

参加者：熊本県立天草拓心高校マリン校舎 2 年生 5 名、教諭 2 名、

天草地区漁業士 2 名、天草広域本部水産課 1 名

内 容：「MOLIMON LAND 牛深」において、漁業士による職業講話を実施した後、魚類養殖場へ移動し、漁業士の指導の下、出荷及び給餌作業を体験した。また、体験教室終了後には、水産業への就職に関する意識の変化を確認するため、参加生徒を対象にアンケート調査を行った。

（２）熊本県立天草高校倉岳校生徒を対象とした魚類体験教室

日 時：令和 7 年（2025 年）10 月 8 日

場 所：天草市倉岳町地先の魚類養殖場及び熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所

参加者：熊本県立天草高校倉岳校 1 年生 9 名、教諭 4 名、天草地区漁業士 3 名

熊本県海水養殖組合職員 2 名、天草広域本部水産課 4 名

内 容：魚類養殖場において、漁業士の指導による給餌体験を行うとともに、養殖業の作業内容や餌料コスト等、養殖経営に関する説明を行った。その後、熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所へ移動し、同事業所職員の案内による高度衛生管理加工施設等の見学、マダイの神経締め及び三枚おろし等の作業体験を実施した。さらに、漁業士による職業講話を通じて、仕事内容や仕事に対する考え方などを生徒に伝えた。

また、体験教室終了後には、水産業への就職に関する意識の変化を確認するため、参加生徒を対象にアンケート調査を行った。

【成果・活用】

体験教室開催後に実施したアンケート調査※では、水産業への就職について「やや関心がある」又は「関心がある」と回答した生徒の割合は 57.1%となり、目標としていた 50%を達成することができた。このことから、本取組みにより、生徒の水産業への就職に対する関心を高めることができた。

特に、牛深地区における漁業体験教室を初めて開催したが、参加した生徒からは、「給餌作業等の機械化が進んでいることを知り、養殖業に対する印象が良い意味で変わった」という意見もあった。

また、漁業士からは、新たな担い手確保は喫緊の課題であり、来年度以降も積極的に取り組みたいとの意見があった。

今後も、漁業士会による体験教室等の取組みに対する助言・指導を継続するとともに、就業希望者を対象とした研修事業に係る地元の受け入れ態勢を整備するなど、関係機関と連携しながら、水産業の担い手確保に取り組むこととしている。

※（１）熊本県立天草拓心高校生徒を対象としたアンケート結果を記載。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図 1 講義風景（天草拓心高校マリン校舎）



図 2 出荷体験（天草拓心高校マリン校舎）



図 3 給餌体験（天草拓心高校マリン校舎）



図 4 養殖場見学（天草高校倉岳校）



図 5 加工場見学（天草高校倉岳校）



図 6 三枚おろし体験（天草高校倉岳校）